

メッセージアウトライン

日付	2018年3月4日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	神の栄光が現れる時
タイトル	ラザロのよみがえり
テキスト	ヨハネ11:1-46
参照箇所	
暗唱聖句	ヨハネ11:40

導入	お葬式に行った事がありますか？ 大切な人が死んでしまったときは、悲しいですね。死んでしまったら、もう会う事が出来ないのです。それなのに・・・
I	<p>ラザロが病気との知らせがきました(1-16)</p> <p>A. イエス様のもとにラザロが病気だと知らせが来ました(3)</p> <p>B. なぜかイエス様はすぐに行かずに二日経ってからベタニヤに向かいました(4-6)</p> <p>C. イエス様はラザロがもう死んでいると知っていました(11-16)</p>
II	<p>ラザロはもう死んでいました(17-32)</p> <p>A. イエス様が着いた時にはラザロが死んでから4日経っていました(17-18)</p> <p>B. 姉のマルタはイエス様がすぐ来てくれなかった事を責めました(19-27)</p> <p>C. マルタもマリヤもイエス様の言葉が理解出来ませんでした(28-32)</p>
III	<p>ラザロは生き返りました！(33-46)</p> <p>A. イエス様はラザロのお墓の前で泣かれました(33-37)</p> <p>B. イエス様はラザロを呼びました(38-43)</p> <p>C. 布にくるまったラザロが生き返って出てきました！(44-46)</p>
結論	神様の力が現れたのです
適用	イエス様は、ラザロと同じように私たちが愛して下さいています。イエス様を信じる人々のために、時々私たちがビックリするような方法で解決して下さるのです。でも、大切な事は、「あなたが信じる」ことです。
備考	



メッセージアウトライン

日付	2018年3月11日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	心からの献げもの
タイトル	ナルドの香油
テキスト	ヨハネ12:1-8
参照箇所	マルコ14:3-9、1サムエル16:7
暗唱聖句	マルコ14:8

導入	みんなの宝物って何ですか？(尋ねてみる)一番大切なものを誰かにあげるとしたら、誰にあげますか？それは、どうしてでしょう？
I	<p>イエスさまは再びラザロたちの所に行きました(1-2)</p> <p>A. イエス様と弟子達は再び生き返ったラザロの所に来ました(1)</p> <p>B. そこではイエス様をお迎えするパーティーが開かれていました(2)</p> <p>C. そこでは、ラザロの姉のマルタが給仕をしていました(2)</p>
II	<p>マリヤの行動は人々を驚かせました(3)</p> <p>A. マリヤは大切にしていた高価なナルドの香油を持って部屋に入ってきました(3)</p> <p>B. その香油をイエス様の足に塗った後に髪の毛で拭いたのです(3)</p> <p>C. マリヤはイエス様のために自分の持っている中で一番良いものを献げました</p>
III	<p>ユダはマリヤの行動に不満でした(4-8)</p> <p>A. 弟子の一人ユダはマリヤの行動を見て文句を言いました(4-5)</p> <p>B. 実はユダは預かっているお金を盗んでいたのです(6)</p> <p>C. 自分のしていることをごまかすためにマリヤのした事を批判したのでした(6)</p>
結論	イエス様はマリヤの心と献げものを喜ばれました
適用	マリヤとユダは何が違うのでしょうか？それは、心が違うのです。マリヤは、自分の持っている物の中で、1番良い物を献げました。イエス様は、心から献げる事を喜んでくださいます。金額や量ではありません。その人がイエス様を思う心を喜んで下さるのです。何よりもあなた自身を主に献げることを喜ばれます。
備考	



メッセージアウトライン

日付	2018年3月18日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	イエス様に繋がる
タイトル	まことのぶどうの木
テキスト	ヨハネ15:1-17
参照箇所	
暗唱聖句	ヨハネ15:5

導入	ぶどうの畑を見た事がありますか？ 長い枝が伸びていて、そこにたくさんのぶどうがなっています。ぶどうがなっているという事は、その木は生きている証拠です。しかも良い木なのです。その木からは美味しいぶどうがとれるのです。
I	<p>イエス様はまことのぶどうの木です(1、5)</p> <p>A. イエス様はぶどうの木です。</p> <p>B. 私たちはその枝です。</p> <p>C. イエス様につながると実を結びます。</p>
II	<p>イエス様につながるとは、イエス様の言葉につながることです(7)</p> <p>A. イエス様の言葉につながることが大切です。</p> <p>B. イエス様のことばに従って祈り求めましょう。</p> <p>C. その祈りはかなえられます。</p>
III	<p>イエス様につながるとは、イエス様の愛につながることです(9-13)</p> <p>A. イエス様は命がけの愛を示してくれました(13)</p> <p>B. そんな大きなイエス様の愛につながりとどまることが大切です(9-10)</p> <p>C. イエス様が愛してくれた愛で、互いに愛し合しましょう(12)</p>
結論	イエス様に繋がると、私も他の人も豊かになります
適用	私たちの周りでは、いろいろな事を言う人たちがいます。占いやおまじないや習慣などで決めようとする人たちがいます。でも、イエス様の言葉を信じて祈り求めたものは、いつまでも残る実となります。イエス様の愛で愛し合う愛は、気まぐれや一時だけのものではなく、いつまでも残る愛の実を結びます。
備考	



メッセージアウトライン

日付	2018年3月25日
単元	ヨハネの福音書・2
テーマ	イエスさまの十字架
タイトル	十字架のイエスさま
テキスト	ヨハネ19:23-30
参照箇所	マタイ27章,マルコ15:1-41,ルカ23:13-49,ヨハネ15:13
暗唱聖句	ローマ3:23-24

導入	今日から受難週に入ります。難しい言葉ですね。世界中のクリスチャンが、イエスさまの十字架を思い返しながらこの一週間を過ごします。イエスさまはどうして十字架にかかれたのでしょうか。そして十字架の上でどんなことを思い、何を話されたのか、一緒に聖書を読んでみましょう。
I	<p>イエスさまは、十字架にかかられました(23-24)</p> <p>A. イエスさまは、十字架にかかられました(23)</p> <p>B. イエスさまの十字架の下では、兵士達が着物を分けていました(23-24)</p> <p>C. それは、聖書の言葉が成就するためでした(24)</p>
II	<p>イエスさまは、マリヤを愛する弟子にお願いしました(25-27)</p> <p>A. イエスさまの十字架のそばに、母マリヤなど女性たちがいました(25)</p> <p>B. イエスさまは、愛する弟子に母マリヤのことをお願いしました(26-27)</p> <p>C. その時から弟子は、マリヤを自分の家に引き取りました(27)</p>
III	<p>イエスさまは、十字架の上で死なれました(28-30)</p> <p>A. イエスさまは、「わたしは渇く」と言われました(28)</p> <p>B. それは聖書が成就するためでした(28)</p> <p>C. イエスさまは、「完了した」と言われて息を引き取られました(30)</p>
結論	罪のないイエスさまが、聖書(神さまの思い)の言葉のとおり、私たちの救いを完成するために十字架にかかって死なれました。
適用	罪のないイエスさまが、私たちの罪のために十字架にかかって下さったこと、イエスさまは私たちの救い主だということをもう一度一緒に信じていきましょう!「あの時、あんなことをしなければよかった」という後悔はありませんか?「どうして、こんな目にあわなければならないのか」という傷や痛みを持っていませんか? イエスさまは十字架の上で救いを完成して下さったので、どんな後悔も痛みも罪も、全部ゆるして、いやすることが出来ます。イエスさまは十字架の上で救いを完成して下さったので、どんな後悔も痛みも罪も、全部ゆるして、いやして下さいます。修行をつんで頑張ったから、テストで100点をとったから、イエスさまから愛されるのはありません。聖書の示すとおり、自分の罪を告白し、悔い改めましょう。すべての罪はゆるされます。あなたはイエスさまから愛されているのです。
備考	

